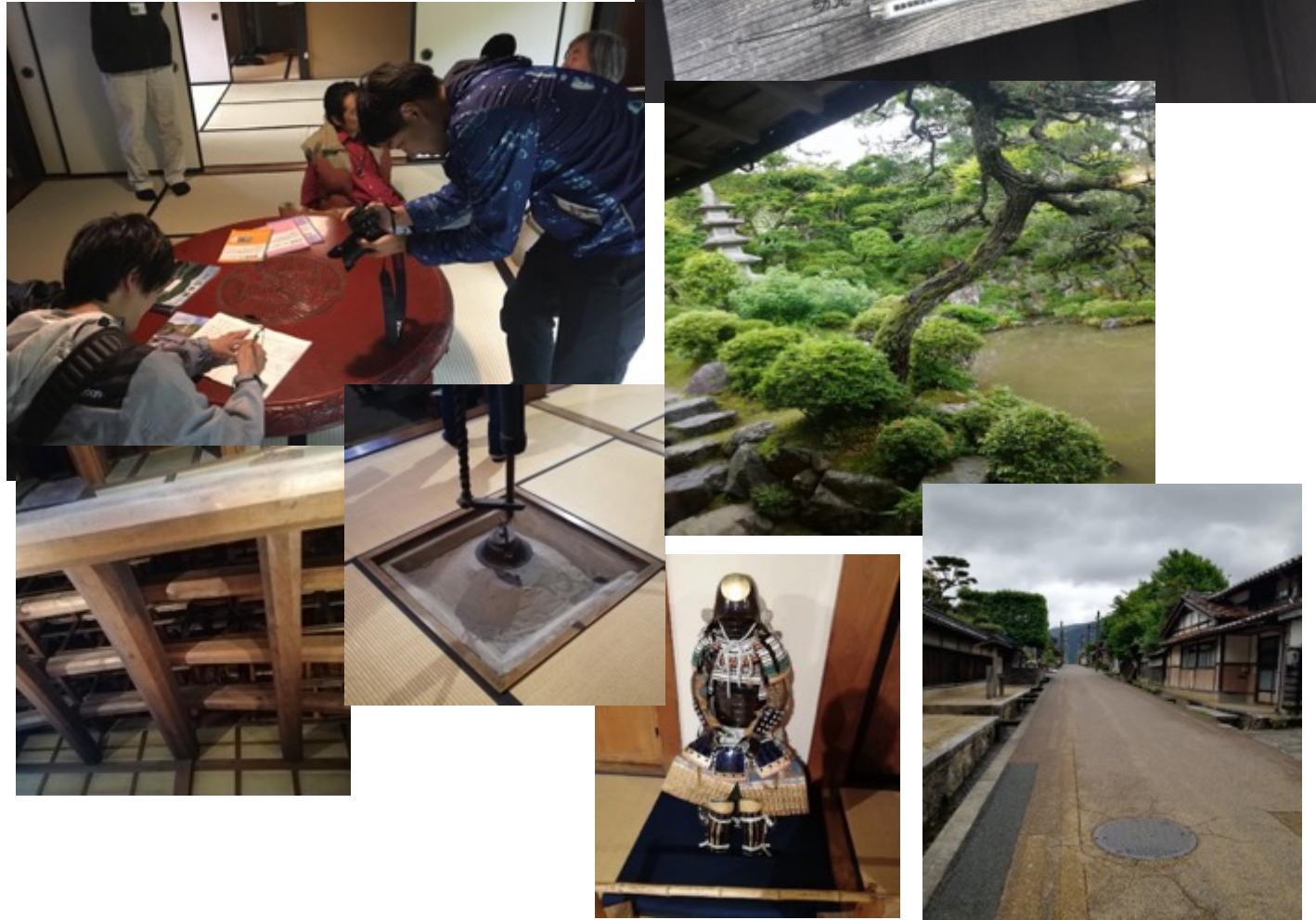


~Day 1~

石谷家住宅



キックオフ



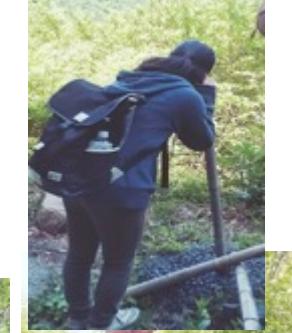
土産屋見学



酒蔵見学

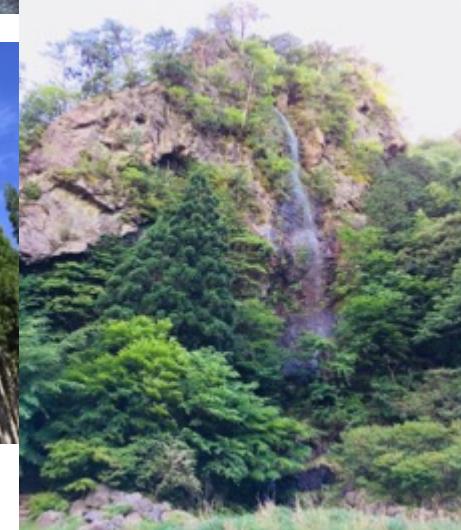
~Day 2~

森林セラピー



7つの誓い

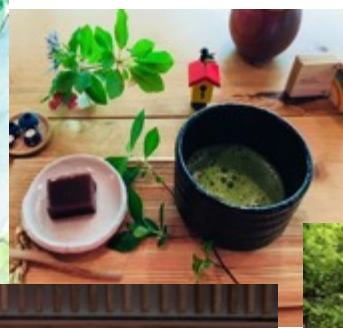
- 一、食材品目数の八割以上を智頭町産の食材を使用すること
- 一、米は100%智頭町産であること
- 一、一食の総カロリーが600～800キロカロリーであること
- 一、一食の塩分は3.5グラム以下であること
- 一、旬の食材を入れること
- 一、お品書きを付け、特徴やこだわり、思いを表現すること
- 一、愛情をたっぷり込めること



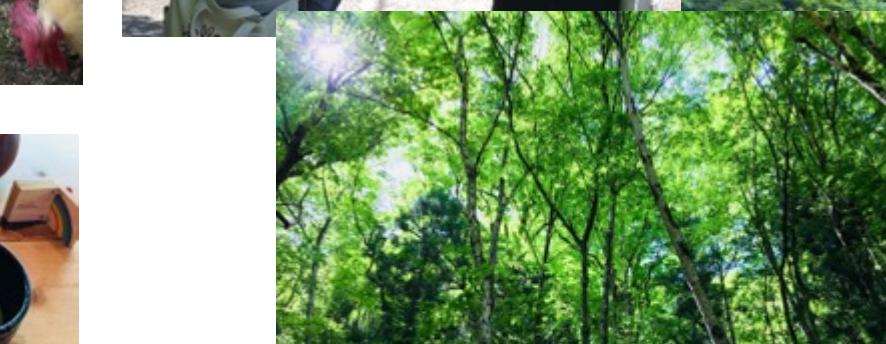
~Day 2~

みたき園

※MAP:「みたき園」公式HPより



サウンドスケープ体験



~Day 3~

板井原



~Day 4~

- 感想、意見交換会
- 今後の活動方針
- 未来年表

～合同フィールドワークを通して～

①「体験(経験)」効果の大きさ

- ・本格的な機器を使用し集中して水の流れや森の音、鳥の声を聞く(2日目)
→普段意識しない「自然音」を積極的に意識→地元(鳥取県智頭町)の財産・強みを認識
→「愛着」「誇り」の定着★
- ・昔ながらの建物等から歴史を体感する
→現地でその土地の「歴史」を知ることはその土地に興味を抱く大きな材料
→地域住民、ガイドさんからの説明の有効性
→「愛着」「誇り」の定着★

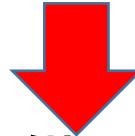
～合同フィールドワークを通して～

②田舎に求めるもの

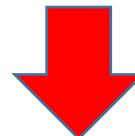
- ・廃校になった学校の活用や昔ながらの維持が多く見られた
→「なつかしさ」を求めている、もしくはそこに価値(満足感)を感じるのではないか。
→今は無い、普段は感じられない非日常
=ここでしか味わえないもの、こと★

～合同フィールドワークを通して～ (企画①「給食ごっこ」)

- ◎廃校を活用した「給食ごっこ」←なつかしさに重き
: 小学校を舞台に懐かしさを感じる要素とは何かを検討
→・給食(牛乳、コッペパン、フルーツポンチ、、)
・遊び(校庭でのドッジボール、鬼ごっこ、、)



- ◎コッペパンをメインで提供してはどうか?
(↑具材:バイキング形式&地元食材をPRできる)

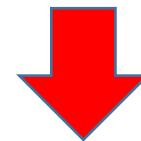


智頭の森散策 + 小学校での給食ごっこ(給食・遊び)

～合同フィールドワークを通して～ (木のまつりでの試行)

◎ 若桜街道 みんなのマルシェ

「環大力フェ コッペとコーヒー」での出店
:小倉ホイップやハムマヨ等簡易な中身



★Good Point

- ・簡単にたくさんの種類を作ることが出来る
- ・カスタマイズを楽しんでもらえそうと分かった
- ・地元食材を活用しやすい
- ・完成イメージを持ってもらいやすい
- ・幅広い年齢層に楽しんでもらえる

★Bad Point

- ・食材管理の難しさ
 - ・野菜など生鮮食品の保存が用意可能なクーラーボックスでは間に合わないので、
- ・種類を増やせすぎてメインで出すものの決定が難しい
- ・「コッペパン」から「智頭町」へイメージを付けにくい

→ もっと直接的に「智頭町」へ結び付きやすい企画の方が有効ではないか？

～合同フィールドワークを通して～ (企画②「柿の葉寿司教室」)

◎柿の葉寿司:お盆やハレの日に食べられていた(パンフレット参照)。
奈良県のイメージがあるがそのルーツをたどると智頭町らしい



◎あまり広く知られていないが智頭町を知ってもらう接点として良い
教室という形にすれば地域住民との交流及びより広い知識を知ることが出来る
「料理教室」は学生にも親しみやすそう



合同フィールドワークで感じた「歴史」・「なつかしさ」
といった接点・興味を深める要素を活用

